

報道機関各位



# 秋のこどもまんなか月間 はじまります！



子どもや子育て家庭を社会全体で応援する気運をさらに醸成するため、毎年11月を「秋のこどもまんなか月間」とし、集中的に「こどもまんなかアクション」を推進します！

## 【主な取組内容】



取組	内容
こどもまんなか漫画	市民の方から寄せられた「子どもと一緒にいる場面でうれしかったこと（総数 10,528 件）」の中から、 <u>北九州市立高校の美術・イラスト部の生徒が場面を選び、4コマ漫画を作成しました。（全10作）</u> 作成した4コマ漫画は、「秋のこどもまんなか月間」中、週2回程度、市の公式 SNS で発信します。 ※北九州市立高校で、 <u>漫画作成の様子を取材することもできます。</u> 【別紙1】
こどもまんなか動画	上記の「子どもと一緒にいる場面でうれしかったこと」から場面を選定し、 <u>北九州市を舞台とした再現動画(30秒)を放映</u> します。 放映場所は、JR小倉駅9面マルチビジョンや、北九州市役所庁舎1階ビジョンなどです。【別紙2】
こどもまんなかイベント情報の集約・発信	「秋のこどもまんなか月間」中に開催される、 <u>市内の子ども向けのイベント情報を集約し、市SNSや市HPで分かりやすく発信</u> します。【別紙3】
こどもまんなかワークショップ	子どもや子育てに対する考え方のギャップを縮めるため、子ども自身や子育てに関わる方、関わっていない方など、 <u>異なる世代・立場の方によるワークショップを開催</u> します。【別紙4】

◇その他、市内の団体等へ「こどもまんなかアクション」を呼びかけます。

【問合せ先】子ども家庭局総務企画課

担当：村上（課長）、島田（係長） 電話：093-582-2280

## こどもまんなか漫画について

市民の方から寄せられた「子どもと一緒にいる場面でうれしかったこと（総数 10,528 件）」の中から、北九州市立高校の美術・イラスト部の生徒が場面を選び、4コマ漫画を作成しました。漫画内には、「北九州市が舞台」と分かるような仕掛け（方言の使用、市のランドマークの登場など）を行っています。

### 【4コマ漫画（一例）】



### 【作成の様子】



### 【発信方法】

・市の公式 SNS（好きっちゃ北九州）

《11月の配信予定日》

1日（水）	4日（土）	8日（水）	11日（土）
15日（水）	18日（土）	22日（水）	25日（土）
28日（火）	30日（木）		

※発信後、市のホームページに掲載



※北九州市立高校での取材を希望される場合は、子ども家庭局総務企画課（電話：093-582-2280 担当：島田）までご連絡ください。

## こどもまんなか動画について

子どもや子育てについて考えるきっかけとなるよう、市民の方から寄せられた「子どもと一緒にいる場面でうれしかったこと」について、北九州市を舞台とした再現動画（30秒）を放映します。

### 【動画の内容】



### 【撮影の様子】



### 【放映場所】

- ・ JR小倉駅9面マルチビジョン [11月6日(月)~]
- ・ 各区役所庁舎ビジョン [11月~] ※準備が整い次第
- ・ 北九州市役所庁舎1階ビジョン [12月1日(金)~]

### 【発信方法】

- ・ 市の公式 SNS (好きっちゃ北九州) [11月1日(水)]

### 【公開サイト】

- ・ 北九州市ホームページ、公式 YouTube チャンネル [11月1日(水)~]

北九州市ホームページ

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ko-katei/11500188.html>



公式 YouTube チャンネル

<https://youtu.be/tjl8NiavDg8>





## 日常生活の中の「ちょっとしたすれ違い」をどうしたらなくせるか こどもまんなかワークショップ の開催

北九州市では、地域社会全体で子どもに関わり、見守り、育てていけるよう、子どもや子育てに対する考え方のギャップを縮めていきたいと考えています。

このため、子ども自身や子育てに関わる方、関わっていない方など、異なる世代・立場の方々から幅広く意見をいただきたく、今回のワークショップを開催します。

ぜひ、取材方よろしくお願ひいたします。

### 記

#### 1 開催概要

(1) 日 程 令和5年11月24日(金) 19:00～21:00

(2) 会 場 ATOMica北九州

(北九州市小倉北区京町3-1-1 セントシティ北九州7階)

(3) 参加者 40名程度(子育ての経験、年齢不問)

(4) 内 容

子育てををする中で「子育てしづらいな」と感じた場面や、子ども連れの方の行動で「もう少し考えてほしいな」と感じた場面※を想定し、「ちょっとしたすれ違い」が起きない仕組み、子育て世代だけでなく、あらゆる世代にやさしい社会づくりを考えます。

#### 【※場面例】

子連れでレストランに行った際、隣の席のお客さんに文句を言われた。

狭い店内でこどもが走りまわっているが親が注意しなかった。 など

#### 2 スケジュール(予定)

19:00 ～ 19:05	開会あいさつ(北九州市)
19:05 ～ 19:15	概要説明 (北九州市)
19:15 ～ 19:25	自己紹介タイム(チーム別)
19:25 ～ 20:10	ディスカッションタイム(チーム別)
20:10 ～ 20:50	発表タイム・講評
20:50 ～ 21:00	閉会あいさつ/アンケート記入

※詳しくは、別紙チラシおよび北九州市のホームページをご覧ください。

北九州市ホームページ

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ko-katei/11500189.html>

